

令和3年度西予市市政懇談会会議要録

開催日時 令和3年12月7日(火) 19:00~20:26
開催場所 俵津公民館
出席者 参加者 40人 市側 9人 市長 管家一夫、副市長 宗正弘 総務部長 山住哲司、政策企画部長 下澤広幸 生活福祉部長(兼)福祉事務所長 藤井兼人、産業部長 酒井信也 建設部長 三瀬計浩、教育部長 宇都宮裕、明浜支所長 上中保博 事務局他 17人
議事内容(要旨) 1 開会 2 市長あいさつ 3 地域づくり活動センターに関する説明 (1) ①地域づくり活動センター推進計画(案)について(まちづくり推進課長説明) ②公民館分館について(教育部長説明) (2) 組織体制(案)について(総務課長説明) 4 質疑応答 (意見等) 災害復旧について、地区要望で出しているが一向に進んでいる様子がない。どのように考えているか。また西日本豪雨の今後の復旧状況について。 (回答 明浜支所産業建設課長) 平成30年豪雨災害で河床に堆積した転石については、天満神社付近の河川護岸災害復旧工事の際に取り除きを行っている。 繁茂したヨセについては、昨年度地区要望として撤去依頼があったため、西予土木事務所の方に状況を伝えて、その対応を依頼している。 東側についても、一度に全ての伐採をすることがなかなか困難ということであるが、今後も引き続いて伐採をしていくといったような説明を受けている。 市としましても、すぐに伐採ができるように引き続いて県の方に要望していきたいと考えている。 30年豪雨災害で堆積した土砂につままして河床掘削が必要な河川として令和元年度に市から県に除去の要望をしている。 同河川については、県の対応が必要との認識がありまして、工事入札を行ったが、不調に終わるなど、現在除去工事が進んでいない状況となっている。

堆積土量が多く年度内にすべての土砂を除去することができないため、来年度も引き続き除去作業を行うときいており、市とても、早期に取り組みができるよう今後も働きかけをしていきたいと考えている。

(意見等)

なるべく早くやってもらいたいと希望していたのであるが、今課長が言われたことを聞いて少し安心した。なるべく早くやってもらいたい。

(回答 産業部長)

そのように県にもお願いして参りたいと考えているので、しばらくお待ちをお願いいただきたい。

(意見等)

今捉えている俵津が持っている特性と課題について具体的な説明をお願いしたい。

(回答 政策企画部長)

その点を地域で話していただき、その地域課題を解決するようなセンター化としていただきたいと考えている。

(意見等)

データをいただかないと具体的な検討ができないのではないかと。

(回答 政策企画部長)

検討に際してそうしたデータが必要であれば市として保有しているデータを提供することは可能。

(意見等)

データを説明して、提示してもらわなければ、何を議論したらいいかわからない。

(回答 市長)

「私はこう思う」「私はああ思う」ということをまず話し合いをいただいて、例えば今言われたように他の明浜地域の中で比べるのか、比べて考えるのか、それか西予市全体の中で考えていくとか、そういうお考えがあったらデータをお持ちすることができると思う。

(意見等)

踏み込んだものなしに、まっさらのところから、1年程度で、全部行なわなければならないというのは、どうか。

(回答 市長)

そういうことに対しての具体的なものがあれば出していく。

(意見等)

俵津公民館は、老人福祉センターを兼ねているが、公民館との棲み分けをどう進めたらよいかかわからない。今後どうしたらよいか。

(回答 市長)

例えば1階が福祉センターで2階が公民館になっているけど、自治センターというものはこの2階だけのものかというご質問か。

(意見等)

その通り。

(回答 政策企画部長)

具体的な利用も含めて全体としてちゃんと精査して活用できるよう事業を進めて参りたいとは考えている。

(回答 市長)

建設した目的が違うからということか。地域活動として公民館として使われている時は、上が公民館で下が福祉センターとして使われているのか。

(意見等)

その通り。

(回答 市長)

仮に老人福祉センターとして建設したかもしれないが、みんなが使えるのが良いかと思うので、使えるように条例とか規則の変更というのは今から 1 年の間にさせていただきたい。

(意見等)

公民館を会議に使っているが、階段が暗くて、早く電灯をつけてもらいたいとお願いしているがつかない。

(回答 総務部長)

担当部署に対応の指示をする。

(意見等)

地域づくり活動センターが出来たら、地域任用職員も入れて 4 人となるが相当激務になるのではないかと思っている。今までされている職員の勤務状態はどうなのか。

(回答 まちづくり推進課長)

狩江は、館長週 5 時間勤務であったが、今週 15 時間勤務していただき、今後センター化に向けてセンター長さんとなる方がどのような勤務でできるのかというのを今試験的に取り組んでいただいている。職員は忙しくなるが、職員だけでやっているわけではなく、地域づくり組織の方々が主にやっているのを支援している状況なので、必ずしも職員だけが忙しくなっているというわけではないと考えている。

(意見等)

それでは、300 万円では足りないという心配をしている。今の給料ではセンター長をする人がいないと思うので、そのあたり配慮をしてもらいたい。

(回答 まちづくり推進課長)

今は週 5 時間であるが、時間が増えることによって給料も増えるかと思う。地域任用職員の 300 万円についても見直しを今後定期的に行って参るので、その都度その都度で問題点など出てきたら、また見直しをしながら進めていきたいと考えている。

(回答 市長)

300 万円の関係であるが、スタート時点では 300 万円であるが、大体 3 年ごとに見直すようにしているので、その協議にのせたいと思う。

(意見等)

地域づくり活動センターの制度自体賛成する。この制度を成功させるためには行政は無論、地域の人たちも心を決めて取り組まなかったら成功はないと思っている。どうかそういう働く環境・その他含めて行政・地域が力を合わせてやるべきではないかと思う。

(回答 市長)

行政も一生懸命行うので、皆様もご協力いただきたらと思う。

(意見等)

今後俵津地区民が集まっているいろいろ相談しても、なかなか前に向いて進みにくいところもあるかなと思っているので、そういった時に親身になって一緒に考えていただくことを是非お願いしたい。

(回答 まちづくり推進課長)

他の地域では検討委員会を設置されているところが多数あり、まちづくり推進課の地域づくり活動センター推進室の担当の者がお伺いしましてご説明するし、一緒に検討させていただきたいと思う。

(意見等)

俵津公民館は場所が使いにくい。「俵津はこの公民館でやりなさい」と簡単に言わないで、少し考えていただきたい。建物の機能を作ったとしてもアクセスできないのであれば困るので、そういうことをお考えいただきたい。

(回答 市長)

公共施設でセンターを作りたいという考えがあり、小学校区の中で 1 か所という考えで、公民館を候補として挙げさせていただいている。道が狭い、駐車場が少ないということもあるが、すぐに一度にするのは難しいので、優先的にやるところや、建物も他が良いという話があれば検討させていただきたいと思う。

5 閉会のあいさつ

副市長

6 閉会